



平成 21 年 10 月 22 日

各 位

会社名 三井造船株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 泰彦
コード番号 7003
東京第 1 部、大阪第 1 部
名古屋第 1 部、福岡、札幌
問合せ先 経理部長 川合 学
(TEL 03-5202-3082)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 8 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	340,000	12,000	10,000	5,000	6.03
今回修正予想 (B)	370,000	19,000	19,000	9,500	11.46
増減額 (B-A)	30,000	7,000	9,000	4,500	—
増減率 (%)	8.8	58.3	90.0	90.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	285,832	4,564	4,276	514	0.62

平成 22 年 3 月期通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	720,000	27,000	24,000	11,500	13.88
今回修正予想 (B)	720,000	31,000	28,000	14,000	16.89
増減額 (B-A)	—	4,000	4,000	2,500	—
増減率 (%)	—	14.8	16.7	21.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	686,655	26,854	23,415	10,641	12.84

修正の理由

(1) 第 2 四半期連結累計期間

当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、前回予想に比べて 300 億円増加の 3,700 億円となる見込みです。これは、連結子会社において、当上半期に工事進行基準適用工事の進捗度が計画を上回ったことによるものです。営業利益は、その増収効果に加えて、全社をあげて推進している原価低減施策の効果等により、前回予想に比べて 70 億円増加の 190 億円になる見込みです。経常利益は、営業利益の増加に加えて、連結子会社において、外貨預金の為替差益が一時的に発生したこと等により前回予想に比べて 90 億円増加の 190 億円に、四半期純利益は、45 億円増加の 95 億円になる見込みです。

(2) 通期

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正理由から、外貨預金の一時的な為替差益が解消されること、円高が進行していることから下半期の米ドル・レートを90円に見直したこと及び一部業種の先行きが不透明なこと等を考慮し、営業利益は前回予想に比べて40億円増加の310億円、経常利益は40億円増加の280億円、当期純利益は25億円増加の140億円を見込んでおります。

<ご参考>

平成22年3月期部門別通期連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	前回発表予想		今回修正予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
船 舶	370,000	2,000	370,000	4,000	—	2,000
鉄構建設	75,000	3,000	75,000	3,000	—	—
機 械	185,000	20,000	185,000	22,000	—	2,000
プラント	70,000	0	70,000	1,000	—	1,000
そ の 他	20,000	2,000	20,000	1,000	—	△ 1,000
合 計	720,000	27,000	720,000	31,000	—	4,000

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報における仮定を前提としていますので、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上